

受付番号

60

許可番号

大歯医倫 第 111154 号

研究課題名

患者説明における診断用ワックスアップと診断用デジタルデザインとの比較

研究責任者

鳥井 克典

申請者

篠崎 百合絵

研究終了日

2024 年 3 月 31 日

所属

有歯補綴咬合学講座

所属

歯学研究科

有歯補綴咬合学専攻

職名

講師

職名

大学院 1 年生

申請の概要

本研究は、上顎前歯部に対するクラウンブリッジによる治療を希望する患者に対して、従来法である診断用ワックスアップを用いて治療について説明する方法と、近年開発された診断用 3 次元デジタルデザイン（フェイスキャナーによる自然頭位での顔貌のイメージデータと、口腔内スキャナーによる歯列のイメージデータとを統合させることによって、口唇を含めた顔貌に対する歯列の情報をモニターに視覚化する技術）を用いて治療について説明する方法とを患者にアンケートを実施することにより比較して、どちらの方法が患者に理解されやすく患者の満足度が高いかを明らかにすることを目的とする。

本研究により、後者の方が治療について患者に理解されやすく患者の満足度が高いことが有意に明らかになれば、患者と歯科医師の意思伝達が容易になると考えられる。さらに、得られたデジタルデザインのデータはそのまま CAD/CAM に応用でき、イメージ通りの補綴装置を製作することができるため、よりスムーズな審美補綴修復が可能になると期待され

---

る。